

小児科研修プログラム

研修実施施設：社会医療法人生長会阪南市民病院

〈 一般目標 GIO: General Instructional Objectives 〉

成長期にある小児の特性、小児疾患の特徴について理解し、一般小児診療、小児救急医療に対応する基本的知識と実践的な能力を習得する。

〈 行動目標 SBO: Specific Behavioral Objectives 〉

1 一般小児診療

- ① 外来及び入院診療で多くみられる小児の Common disease について適切な病歴聴取や問診をおこない、理学所見を取り、適切な初期対応がおこなえる。
- ② 基本的検査（一般血液検査、尿検査、放射線検査）をおこない、結果から、精度の高い診断に到達できる。
- ③ 基本的治療手技（輸液、各種薬物治療、呼吸管理、栄養管理など）により、Common disease の治療をおこなう事ができる。
- ④ チーム医療の一員として、スタッフとコミュニケーションを取り、情報共有のためのプレゼンテーション、指導医、専門医への適切なコンサルテーションができる。

2 予防医療 保健医療

- ① 予防接種に関わり、意義と注意点について理解し、説明する事ができる。
- ② 乳幼児健診、育児相談を見学し、正常小児の発達や問題点を理解する。

3 小児救急医療

- ① 小児救急で遭遇する痙攣、意識障害、呼吸不全、循環不全などの危急の状態を正しく判断し、適切に対応できる。
- ② ありふれた症状（発熱、咳、喘鳴、腹痛、嘔吐 下痢）の中から緊急対応が必要な状態を的確に判断し、重篤な疾患を見逃さないようにする。

4 小児慢性疾患

循環器疾患、てんかん、アレルギー疾患、成長障害、発達障害、腎疾患などの慢性疾患に対しての外来見学をおこない、小児特有の慢性疾患に関しての知識を得る。

〈 方略 LS: Learning Strategies 〉

研修スケジュール

	午前	午後
月	一般外来	病棟実習 カンファレンス
火	病棟実習 外来	検査（脳波） 予防接種
水	一般外来 検査（成長ホルモン負荷試験）	予防接種 後期健診 検査（脳波）
木	専門外来（循環器）	1才半/3才半健診 病棟実習 予防接種 心理診察
金	専門外来（アレルギー） 食物負荷テスト	専門外来（発達、腎臓） （4ヶ月健診）
土		

外来で経験すべき疾患

- ① 上気道炎 下気道炎
- ② 感染性胃腸炎
- ③ 発疹性疾患（突発性発疹、水痘、溶連菌感染症 等）
- ④ 熱性けいれん てんかん
- ⑤ アレルギー性疾患（食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎 等）
- ⑥ 発達障害
- ⑦ 小児救急の見学、体験

病棟で経験すべき疾患

- ① 肺炎
- ② 気管支喘息
- ③ 感染性胃腸炎 脱水症
- ④ 川崎病
- ⑤ けいれん性疾患

〈 研修評価 EV: Evaluation 〉

研修終了時に部長および指導医が上記 SB0 に挙げた項目に関して、研修医の評価をおこなう。

研修医が、自己評価とともに、研修診療科と指導医の評価をおこなう。